

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2008年度夏期学校・参加者かんそう文



本年度の夏期学校は7月19日から21日まで奥多摩福音の家にて開催しました。参加者、総勢17名で聖書の学び、そして野外活動、お楽しみタイムなどのプログラムで3日間を過ごしました。では毎年恒例の参加者1人ひとりのかんそう文をお楽しみ下さい。

せきここね(1歳)

せきここねです。ことはじめてパパとママとおねえちゃんといっしょにおくたまキャンプにきました。みんなに可愛がってもらってずっとごきげんでした。ごはんやスープ、ハンバーグもたべました。キャンプ1日目はわたしの1さいのおたんじょうびでした。はじめてのおたんじょうびをキャンプ場でみんなにいわってもらえました。はじめて河原にいきました。すずしくてとてもきもちよくて、またずっとごきげんでした。おいしいやきそばをおててにもって、いっぱいたべ

ました。川の水にちょっぴり足をつけてみました。こんなつめたいのは生まれてはじめてだったので、何がなんだかわからず、とびあがってしまいました。Tシャツづくりでは、1歳のバースデーきねんのここね手形Tシャツをつくりました。みんな、よくしてくれてありがとう!!来年もまたいっしょに来たいな(代筆 = みほママ)。



せきわかな (幼稚科・5歳)

みきちゃんとたのしいおもいがたのしかったです。あとカードさがすのたいへんでした。でもさいごにはちゃんとみつけれよかったです。かわらもたのしかったです。はなびもたのしみにしています。またいきたいです(ぜんぶひとりでかきました)。

ますぎみき (小学1年)

おふろのおゆがわ(あ)ふれていました。おたのしみタイムでかみさがしたのしかった。ビンゴでななめになった。すいとうもらった。たいそうするのおくれてできなかった。ごはんが、もりもとせんせいよりはやくたべおわった。のこさないでたべました。今日はバーベキューをした。たのしかった。またいきたいです。

馬杉芽衣 (小学3年)

今回で2回目のかき学校でした。わたしはなんと・・・ステキなおへや(くるくるかいだん)でとまりました。今回は1ぱく2日でした。ママに「オネガイ、2はく3日にして!」といいました。でもだめでした。あ～あザンネン。来年もぜったい来ると思っています。でも、ごはんもおいしかったし、わかなちゃんたちもいっしょ!ヤッターと思っています。2日目に川に行きました。いっていきなり川に入りました。たきはキレイでした。楽しかったです。

吉見瑠威 (小学3年)

バーベキューの場所でたき近くまで岩を登って行きました。楽しかったです。さとるくんと友だちになれてよかったです。花火で心ぞうが止まりそうになりました。また2009年来たいです。1日目の夜にゲームをやりました。けっこうむずかしかったです。あき先生のマジックは全ぜんわかりませんでした。

川島 悟 (成人科)

最後の日にサイフをなくしました。キツイです。それは別にいいのですが、今年も森本校長と仲良くできたと思います。「集中」ということを深く教えられました。デボーションもご飯を食べるときも「集中」することが大切だそうです。3日間でしたが、みんなと楽しく過ごせてうれしかったです。るい君とめいちゃんと川へ散歩に行ったとき、2人の素直で純粋な行動や言葉から何かを学んだと思います。あの2人と遊べてすごい楽しかったです。ぼくは森本校長ぐらいの

年になってもキャンプに来るたび子どもたちと遊ぶでしょう。

近藤 篤（成人科）

自然に囲まれた福音の家で、子どもたちとかくれんぼ、かけっこなどをして遊びました。子どもたちの笑顔を見てると心が和んで穏やかな気持ちにもなるので、遊んでいてとても楽しかったです。短い日程でしたが、充足したキャンプを送ることができました。



関 聖（成人科・わかな・ここねパパ）

毎年、奥多摩に来ると、すてきな小川に行き、バーベキューと川遊びを行います。恒例となっています・・・“好例”なのでしょうか？ この場所は滝があり、人も少なく素晴らしい所なのであ～る。よって秘密の場所であ～る。毎年、バーベキューの場所取りに森本校長と朝 4 時からテントといす、テーブルを車で運ぶのであ～る。秘密の場所なので、そんなに早く起きて行かなくても大丈夫では・・・とお思いでしょうが、なんとバーベキューを行うお昼ごろには、日曜で夏休みも重なって数組が来てにぎわいます。皆さん、結構知っている場所なのか？ おっと、これ以上書くと場所取りに行く時刻がさらに早くなってしまうので、この辺にしておくのであ～る。

さてテントの張り方は至って簡単、ワンタッチなのであ～る。足を組んで、“四角(よすみ)”をカッチンです。ホロを被せて“四角”をビューと上げて完成です。覚えておきましょう。必須です。奥多摩キャンプテストにでます。

関 美穂（成人科・わかな・ここねママ）

『ここに来れば必ず祝福される』この言葉は今まで奥多摩に来た誰でもが体験していることです。今年もこの期待を胸に参加させて頂くことができ、期待通り、いやそれ以上のたくさんの祝福を神さまから頂くことができました。憧れの新館バルコニーから眺める福音の家には年々見るごとに大きくなっていくヒマラヤ杉、そのまた背景には偉大な山がそびえ立ち、その光景を見るごとに神さまの偉大さを、そして今日も神さまの大きな御手の中に生かされている感動を覚えます。

このキャンプでは、日常の忙しさ、あわただしさからすべて開放され、聖書の一字一句に心を留め、それを参加者と共に分かち合う最高のデボーション、聖霊に満たされたことを実感するひとときを過ごさせて頂きました。日頃、そのような生活から遠くかけなれていた自分に神さまが必要な時として招いて下さったのだと確信しています。「神の家族」のようなこのキャンプ、娘の心寧の 1 歳のお誕生日を共に祝って頂いたり、こんなことなかなか体験できない!!ことを、ここで沢山体験させて頂きました。キャンプのために祈って下さっていた多くの方々と教師の先生方に心から感謝しています。

山歩こう会メンバー（成人科）

奥多摩福音の家で行われた夏期学校に1泊2日で参加し、豊かな自然の中で、神様から大きな恵みをいただきました。日常から完全に離れた場所で、主のみ言葉を傾聴し、教会学校の先生方、生徒さんたちと交わりを深めることができたことは大きな感謝です。普段の日曜日の礼拝だけでは、なかなか時間がなくて、話すことのできない兄弟姉妹方とゆっくり話をすることができ、とても充実した時を持つことができました。河原でのバーベキューの後、川遊びをして、冷たい水に手を浸し、その冷たさに一瞬、真夏の暑さを忘れる程でした。ゲームやキャンプファイヤーなどプログラムも盛りだくさんで、準備をされた先生方に感謝しています。とても楽しい時を過ごさせていただきました。



馬杉めぐみ（奏楽アシスタント教師）

今年も夏期学校に親子で参加することができ、神さまからたくさんの恵みを頂きました。子どもたちが夢にまでみた“あこがれのらせん階段の部屋”に泊まることができ、親子で大はしゃぎでした。先生方が入念にご準備されたメッセージは本当に分かりやすく、心の中にスッと入ってきて、神さまからのみ言葉として心に残りました。夜のお楽しみタイムもとっても楽しくて、最初から最後まで笑っぱなしで、お腹が痛くなりました。ゲームも久しぶりに真剣になってしまいました。日頃運動不足の私は、階段を上ったり下ったりで、息切れしそうになってしまいましたが、いい運動になりました（亜紀先生ありがとう!!）。亜紀先生の手品もすごかった。何回見てもただただすごい!!と感心してしまいました。

大自然の中に囲まれて食べるご飯やバーベキューもとってもおいしかったです。これから夜のキャンプファイヤーをした後、後ろ髪をひかれつつ帰りますが、まだここに残っていらっしゃるお1人おひとりの上に、神さまの豊かな祝福と恵みがありますように。先生方をはじめ、兄弟、姉妹と楽しいお交わりの時を過ごすことができ、心から感謝しています。神さま、あふれるばかりの恵みを感謝します。子どもたちとたくさん遊んで下さった亜紀先生、さとるくん、こんちゃんに心から感謝しています。子どもたちの笑顔を沢山見ることができ、私も幸せいっぱいです。帰途、一緒に車で送って下さった、関さんご一家に心から感謝しています。2日間本当にお世話になり、ありがとうございました。

飯田純子(教師)

今年もきました。おくたまへ〜。くるたびに、新しさ発見。玄関のディスプレイ、いす、テーブルのかざり、食堂の床、窓辺のかざり、夏らしく海のイメージで、四季によってディスプレイを変えるところのこと。食堂の床はPタイルをはりかえ

て、みるからに美しくなり、いすは真新しくなり、立派なソファが設置されて、キャンプスタッフの方々の気持ちが伝わってくるよう。キャンプ管理人の大通さんはいつもいつもよく働いています。しかしながら今年のキャンプはなんとめぐみにみちていたことでしょう。ぎりぎりまで参加者が確定せず、気持ちがゆれ動いていましたが、少人数ながら夏期学校を実施できて感謝でした。初めて参加して下さった山歩こう会の姉妹、弓桁先生のお話、各々の先生が担当されたメッセージ、大いなる恵みを頂きました。CS 生徒は 4 名プラスここねちゃん、7 月 19 日はここねちゃんのバースデー、みんなでお祝いしてケーキも頂きました。「人とともに生きる」というテーマでした。神さまのみことばによって養われたキャンプでした。若いさとる君、近藤君、関聖さん。本当にありがとうございました。熊谷先生をはじめとして、教会の皆さまのお祈りを感謝いたします。来年はもっと参加者が与えられますことを祈りつつ。



稲津亜紀（教師）

10年以上ぶりに夏期学校2泊3日全参加することができ、感謝でした。子どもの参加者は少なかったにもかかわらず、みんな大興奮で、こんなにも楽しい時間を過ごすことができたのは、神さまの力が働いて下さったのだと実感しています。たくさんの緑とおいしい空気、きれいな川でのバーベキューに、福音の家のおいしい食事、すばらしい環境で聖書を学び、普段の教会学校ではできない遊びを思う存分、子どもたちとできたのは貴重な時間でした。もっとたくさんの人とこの時間を共有できたらな・・・と心から思います。ありがとうございました!!

稲津悠紀（教師）

今年の夏期学校は参加者が少なく（子どもは4名）さびしいなあ～と参加する前は悩んでいましたが、いつもここ奥多摩に来ると、神さまが私たちに強く働き、心配を喜びに変えてくださり恵まれました。子どもたちのはちきれんばかりの笑顔と歓声が大人の私たちに力と勇気を与えてくれました。「たのしいが10コあった」、「イエスさまだいすき!!」と素直に語ってくれたみきちゃん、ありがとう!! 木のぼり、沢のぼり、ゲーム、さんびと力いっぱい身体ぜんぶを全開させてはちきれためいちゃん!! あなたに元気をいっぱいもらいました。毎年、どんどん成長し、今年はママのところへほとんどいかず、だいすきなみきちゃんとたくさん、たくさんあそべて、ずーとニコニコだったわかちゃん!!奥多摩にこれてよかったね。おいのりも素直に自分のことばで語り、たった1人男の子で3日間過ごしたるい君!! 3日目は大人ばかりできっと気をつかったことでしょう、えらかったね。るい君ありがとう!!

私としては、日常から離れておいしい食事ときれいなお部屋、大自然の中での聖書の学びにとっぷりつき、心から神さまに感謝する3日間でした。神さまありがとうございました。

川島正子（教師）

プログラムの最後の感想文を書く時間となりました。茅ヶ崎を出てからこの時間まで、すべて守られ恵まれた時間を持たせて頂きました。今年は事の他、お子さまたちの参加が少なかったのですが、その分、お子さまたち、教師、参加して下さったすべての方とも皆が親しく交わって感謝でした。わかちゃん、みえちゃん、めいちゃん、るいくんも日ごとに100%以上のパワーアップ、キャンプ場の遊具で、河原で元気に遊んでいました。亜紀先生の準備して下さったゲームは2人1組で、みきちゃんと近藤篤お兄さん、るいくんと悟、わかちゃんと純子先生、めいちゃんとあずさ先生のペアで1階から3階まで聖書クイズに答えるカードを探しました。このおかげで、その後は更にお兄さんたちとお子さんたちが近づけたようです。お兄さんたちがよく面倒を見て下さり、自由時間の時は長い間遊んでくれました。山歩こう会メンバーの姉妹も参加して下さり、日頃のお話も聞けて有意義な時間でした。弓桁先生、稲津先生のメッセージから神さまのご愛をよく覚えさせられました。朝のデボーションの時間も小さいお友だち、大人たちと分かれてよい時間がもてました。教会の方たちの祈りを覚え、今年もまた本当に恵まれた時でした。神さまに心から感謝します。



森本 成（教師）

今年はキャンプレポートも書かねばならず。感想文が重複しそうなので、簡潔に述べます。5月からテキスト・プログラム作成の準備、やっと参加教師が決まり、配布から最終準備までは色々とありましたが、3日間終わってみれば、主の恵みいっぱい夏期学校でした。今年には本当にお天気に恵まれました。少ない人数でしたが聖書の学びに集中できた3日間でした。教師は高齢化の一方ですが、参加者は若くなってこれからが楽しみです。奥多摩福音の家のスタッフのみなさま、ありがとうございました。幼児から成人までみんなで聖書を学んだ楽しい夏期学校を見守って下さったイエスさまに感謝します。個人的にはキャンプのあと健康診断の再検査を控えており、3日間の休肝日は大変よかったと思います（そして診察医談＝再検査は30日を1単位として体調を整えての受診を心がけてください）。

弓桁あずさ（教師）

少人数で、とてもアットホームな、よいキャンプでした。1歳の誕生日を迎えた心寧ちゃんから、さまざまな世代の大人が集まり、なにしろよくおしゃべりし、笑

いました。しゃべりすぎ、笑いすぎで、口が疲れたほどです。るい君が行きの電車でも一緒、1泊目の夜も一緒に、かわいくて、かわいくて。兄の納宗(のうむ)とは全然違ったキャラの持ち主ですが、吉見家の2人の兄弟は、私の自慢の息子たちのような気がしています。そしてなにより、今回の夏期学校の最大の出来事は、山歩こう会メンバーの姉妹といっばいお話しできたこと。以前から、ゆっくりお話ししたいと思い続けていたので、今回の夏期学校はまさに神様からの最高のプレゼントでした。日本の中学・高校の英語教育の在り方を、真剣に語り合えたのです。ちょっとやそとの時間で語り合えることではないので、2日間でも全然足りませんが、多少でも語り合えたことは、私にとっては貴重な時間でした。天候にも恵まれ、本当に楽しい恵まれた時を過ごすことができ、神様に心から感謝しています。

編集後記 (Aug.2nd. 2008, Updated)



2007年7月21～23日、奥多摩福音の家で行われた夏期学校参加者全員のかんそう文です。原文に忠実に掲載を心がけましたので誤字や脱字以外は極力訂正を加えないように心がけました。今年も、福音の家での楽しい3日間、備品や車を手配してくださった大通さん、楽しい食事を準備してくださる永山さんをはじめスタッフのお1人おひとりに感謝いたします。(森本 記)

2008年度参加者名簿

関 心寧 1歳	馬杉めぐみ 奏楽アシスタント教師
関 和奏 幼稚科	飯田 純子 教師
馬杉 美希 小学科1年	稲津 亜紀 教師
馬杉 芽依 小学科3年	稲津 悠紀 教師
吉見 瑠威 小学科3年	川島 正子 教師
川島 悟 成人科	森本 成 教師
近藤 篤 成人科	弓桁あずさ 教師
関 美穂 成人科	
関 聖 成人科	
山歩こう会メンバー 成人科	

